

心算のこる BOOK

元ブラ讃歌(下)

12 あおば しげる

★花やかさと雑踏の中のノンビリムード

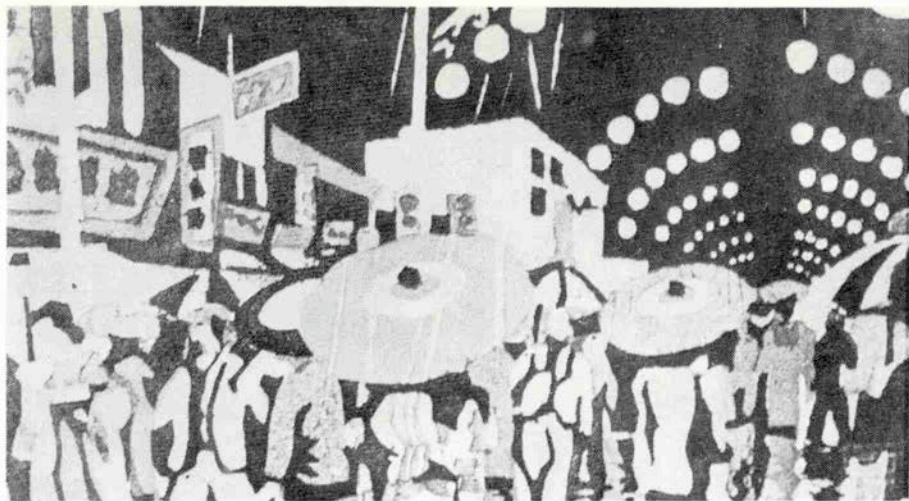
元町の由来については、前回かなりくわしく述べたが、今回は昔花やかだった元町の人通り、つまり元ブラについてなつかしい思い出のかずかずをしるすことにしよう。

大正一五年に元町通りに鈴蘭灯が、神戸高等工業学校校長であった古宇田氏のデザインによって作られ、各所に立てられると、元町通りの姿は一変した。以前にまして明るさと一種ロマンチックなムードが漂い出したわけ。

元町商店連合会ではさっそくこれを記念して、完成祝賀会を行い、記念の大売出しをやった。この日は神戸市民だけでなく近在の各市、町村からも大勢の見物客がどつと押しかけて大にぎわいを呈した。これを機会に以後元ブラの人々はぐっとふえ、ほとんど連日午前一〇時頃から夕方へかけて人通りは何倍にもふえ、夕方から夜一〇時頃まではとりわけ多く陸続と流れた。こんなことをいうと、現在の元町の商店主に悪い気もするが、今日の元ブラ振りからは想像もできない情況で、行き交う人々は互いの肩が触れ合うほどの雑踏だった。そこへもってきて元ブラを讚える流行歌まで作られた。五〇代半ばを越えた人々のうちにはこの歌をおぼえている人が少なくないと思うが、私などその一節「雨の元町 鈴蘭灯 満れて光ったアスファルト 青いマドロス 恋あさる 恋あさる」と口ずさむと、当時の元ブラ風景がありありと目に浮かんでくる(昭和一九年ついに戦力増強のため鈴蘭灯は供出されてしまったが)――

元ブラ人種の中には外人をはじめ各国のマドロスも多かった。なんといっても日本一の国際貿易港だったのだから、今日の空港時代と違い、コウベ港の国際港としての貫録は抜群、世界の訪日客が真っ先に神戸へ上陸したものだ。ほとんど毎日どこかの国のマドロスがブラついていたが、元町の裏通りにカフェーや花街が数多く、暗やみのところどころに街の天使(私娼)が立っていたから、酒気を帯びた連中が多かったこともムリないところ。だが、それらの連中もうまく一般元ブラ人種の中に溶け込んで活気を添えていた。テレビのない時代だから、映画や喫茶店、買い物店を求めて夕方から外出客が元町へあふれ出たため、夜遅くまで家族づれや友人仲間アベックたち、また自分の新しい服装を誇示しようと元町をデモるモボ、モガ連中がひっきりなしに往来した情景は、今日の若い人たちには想像もつかぬほどだった。今日センター街や元町一、二丁目あたりに似た情景が見られることはあるが、とにかく時代の差といおうか当時は雑踏の中にもノンビリムードがあって流行歌や浪花節やオペラソングを口ずさむ人が混じっていたりしてこちらの気持ちまで楽しくさせてくれたりしたものだ。

だから元ブラの魅力につかれて、夜のうち七回ぐらい元町の端から端まで往来しないと家に帰れない――といった連中も多く、私の友人仲間にも何人かいた。これらの連中は別に買い物をするためではなく、元ブラ人種の品定めや元ブラムードを楽しむというわけだから、ポケットマネーを多額に持っている者は少なく、せいぜい喫茶店でコーヒーを飲むぐらいだった。もつとも当時の喫茶店は今日と違い、もの珍しさが伴っていたから、喫



故川西英画伯が描く“雨の元町”（昭和初期）「ころべ元町100年」より

りしながら若い男女同士が互いに相手を求め合っていたことも彼らの秘めた楽しみの一つであり、ささやかなアバンチュールでもあった。

今も思い出すが、昭和七、八年頃、私は関学生だったが、元町を夕方歩くときまって出会うモダンな感じの美少女がいた。黒色の勝った洋装で、やさ型でスラリとしていたが、どこか当時はやりのフランス映画の女優に似た表情に私はとても魅力を感じたものだ。友人連もすでに彼女の存在に気づいていたが、そのうちの一人からの情報で、彼女が中山手三丁目のK内科医院の娘で、神戸女学院出身ということがわかると、一同の関心はぐっと高まり、連日会いに元ブラへ出かけたことがある。今日と違い、上流家庭の女性にもの言うことは困難な頃だったから、逆に彼女に近づきたいという期待も大きかったわけだ。

ところで元町通りの喫茶店の代表といえば、三丁目山側の本庄（喫茶・カメラ）と六丁目山側の三省堂薬局の階上喫茶が東西の横綱格だった。本庄はとても明るい感じの店で家族づれが多く、三省堂は対照的にクラシックな感じの店内で、いわゆる文化人やインテリの客が好んで出入りしていた。元町一丁目入口山側のブラジレロ、五丁目浜側の音楽喫茶ウインナも人気を集めていた。

元町が栄えたのには、東へ抜けるとすぐ近くに三宮の娯楽街があったし、西へ抜けると湊川神社から西へかけて福原、多聞通、新開地の盛り場が控えていたから、よけいに人通りが多かったわけである。新開地本通りなどは午前一時の深夜まで人通りがあった。さて、今日の元町を普通通りの元ブラ地帯に戻すことはむずかしいことだが、各店主が一層魅力ある街づくり、店づくりを計画することはもちろん、全市民にもひとつ神戸一のプロムナードセンター復興のため諸提案を出してもらって、新しい時代にふさわしい活気ある元ブラムードを実現したいものである。（五〇・八・八記）

茶店へ入ることも一つの新しい楽しみになっていた。昭和初年にはやった「小さい喫茶店」という流行歌の一節「お茶とお菓子を前にして、一言もしゃべらず、そばでラジオが甘い歌を、やさしく歌ってたが、二人はただだまって向き合っていたっけね」といった今日の若者には思いもつかないつましやかなアベックが各所で見られたものである。また、元ブラをしたり、喫茶店へ入った

注「ころべ元町一〇〇年」（元町商店会刊）を参照させていただきました



● Fashion Life in London ⑥

本家ウーマン・リブ

柴田 啓嗣 （柴田商事機企画室長）

仕事のうえでのつきあひも夫婦単位、女性同伴というイギリスである。自宅に招待し、奥さんの手料理とサーブスでもてなすのが最高の歓待というから、夫の仕事のためにも、妻たる女性の力量と魅力は重要な役わりを果たすことになる。そんなイギリスで、私は何人ものステキな忘れられない女性に出会った。

その家には四組の夫婦とロンドンに来たばかりの私が招待されていた。ジントニックから始まり、食事の間はワイン、そのあとは水割りと、酒の量に自信のあった私はずいぶん調子よくピッチをあげていたのである。英語もいつになくうまく口をつけて出てくるので、ますます調子にのって、一座の話題を独占してしゃべっていた。ホストの主人がそこへ食後酒にと、一風変わった酒を勧めに来た。キユメルというハッカの味がして食後にはとくにおいしく、二杯目を所望した。これがとてつもなくきつい酒だったということで、そろそろ帰ろうということになり、奥さんにお礼をいおうとした時、私は突然意識を失なつてぶつ倒れてしまったらしい。

イギリスでは酒を飲んでひっくり返るのは最悪のマナーである。それに仕事の延長の席である。ホストがみんなの手前気を使って、こっそり寝室へ運んでくれた。しばらくして気がつき、それでもまだ何やらわからないでいる私を、彼は家まで送ってくれた。

大変な失敗をしておかしてしまった、もうロンドンでのこれからの仕事は全てオミットされ、今までの取引きも失ってしまったんじゃないか、私は今さらのように悔やまれた。まず非礼を詫言なければ、と二、三日後その家

を訪ねた。

「この間は申しわけありませんでした。主人はついにお酒を勧めすぎなのです」

なんと、私が謝るより先に、応待に現われた奥さんはこういつて私に詫言ののだった。「ウチに来てお酒でダウンしたのもあなたが初めてじゃないんですよ」という。もう口も聞いてもらえないんじゃないかと案じていたところへ、この言葉は感激であった。なんてよくできた女性だろう。あなたが初めてじゃない、というのはむしろんウソに決まっている。若い私への思いやりだ。自分の失敗を恥じて感じ入ってしまった。

もとモデルだというこの奥さんは、私がロンドンで会った女性のなかでもとびきり美人だったが、その後も夫妻はパーティーのたびに凝りずに私を招待してくれた。

まだ若いのによく謝りにきた、と却って私のことも好感を抱いてくれたようだ。

ドーメル社がヨーロッパ中から百二十人ものテイラーを招待して三日間のツアーを企画した時には、各担当重役のそれぞれ奥さんが、夫を助けたいがいしく働く様子に驚いたものである。チャールリングクロスの駅の近くに、二百年も昔のイギリスの海賊のスタイルのまま営業を続けているレストランがある。客は机をドンドンたたき、パンを投げ合い、ステージで順に歌を歌いながら食事をする。思いきり行儀悪く、はめをはずして、いわば日本の宴会風どんちゃん騒ぎである。ステージに出て歌えないとギロチンにかけられ、パンの集中攻撃を浴びるハメになる。



招待旅行でパッキンガム容殿の前。右がギロチンの女性。左二人はマネージャー夫妻。

重役の奥さんの一人がステージにひっぱり出された。歌のニガ手な彼女が歌えずにいと、司会者が「バツに男性全員キスをどうぞ」

後方の席から真先に駆け出たのは、誰かと思えば、招待客でなくドーメルの社長であった。その後を続々と男性がステージに上る。ウロウロしている私に「なにをしているんだ。早く行ってこい」と社長。

そんな彼女の奮闘もあって招待旅行は大成功に終わった。翌日彼女と会って私はちょっとオセジのつもりで、「きのうはあなたのような美しい人とキスできて大変幸せだった」

すると彼女は、「たくさんの人にキスされたけれど、あなたのキスがいちばん上手だったわ」

と、ユーモアたっぷりにお返しが返ってきた。

香港の私の友人の母親が一人ロンドンに住んでいる。もう85才くらいのイギリス人のおばあさんで、大英帝国

の往時を生きてきた人だから、イギリスの昔の伝統を今保守している。会うたび「今の若者は……」のおこごとを聞いた。郊外の立派な庭つき家の家に住んでいて、週三回は経理の仕事に出てくる。二人の息子は香港に住む大金持ちなのだが、息子からの仕送りはいっさい受けつけない。おばあちゃん香港に行ったら、と勧めても、私はロンドンに住むんだ、と絶対動こうとしない。死ねばお墓は自分で掘って自分で埋めるさ、とこれまた気の強いこと。

このおばあちゃんの所に時々イタズラ電話がかかってくる。電話帳に「Mrs」と女性の名で登録されているものだから、若い未亡人だろうと思つて男性がエッチな電話をかけてくる。(ダウン・ユアー・ズロース——今すぐ行くから)

こんな電話がかかってくると彼女は昔のままの人だから、大騒ぎで警察に抗議する。今の警察は何をしている。女性を守っていないのか。昔の警察はもつと女性を大切にしてくれたものだ——と。

おばあちゃんは、また、近ごろロンドンの黒人の多く働いているのが気に入らない。駅で切符切りが黒人だったりすると絶対切符を渡さず改札を出てくる。相手はそれが仕事だから追っかけてきても「時間のムダだ」と一切取りあわず切符を渡さないというのだ。

けどとても頭がよく、ジョークが好きで、はつきりものは言うけど、とてもすてきなおばあちゃんだった。



ハイパークで私のボスだったドーメル社専務と。

世界の福祉施設

欧米の心身障害者を訪ねて

橋本 明著 〈カラー8ページ、本文320ページ、定価 1000円〉

〈社団法人家庭養護促進協会事務局長〉

送料 200円



●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニック
- グッドウィル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースターグラントペアレント
- ファーストアベニュー・サービスセンター
- ボランティア・ビューロー
- 病院におけるボランティア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボーイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スポック博士の子供博物館
- アピリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルルドを訪ねて
- コペンハーゲンの老人の町
- ベーテル——西ドイツの障害者の町（ドイツ）
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー（オランダ）

各書店で好評発売中！

振替口座 神戸四五一九六

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル7F TEL(331)2246

★神戸の集いから

□国際色豊かな

インターナショナル・ナイト

8月22日夜、神戸クラブ(生田区山本通)にて「コウベ・インターナショナル・ナイト」が開かれた。これは神戸青年会議所(宮田喜夫理事長)主催の恒例のパーティー(山口和久実行委員長)。

もともと、国際都市神戸にふさわしいパーティーをということで在神外国人と神戸J.C.(OBも含めて)のメンバー、プラス、レディとの間で親交を深めるために企画されたものである。

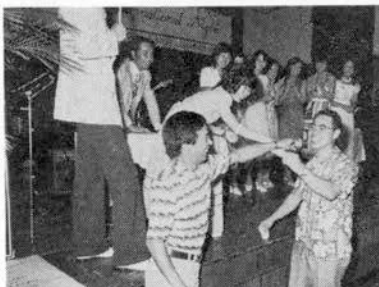
当夜は折りからの台風6号の接近による悪天候にも関わらず、多数が集った。服装も宮田理事長のアロハシャツをはじめ軽装が多く、クイーン神戸も混じえて、賑やかに食事をしたり、バンドの演奏に合わせてダンスをしたり、ゲームをしたり、楽しいひとときであった。



ダンスタイムのひとつ



ディナータイムには国際色豊かな料理が



アトラクションでは宮田理事長も大ハッスル

□京都の「西やん」ファン

パンジヨーハウスに集う

7月24日にオープンしたパンジヨーハウス(中山手通一、曾根ビル2F)で、8月17日の昼、稀有の名コルネット奏者、西代宗良さんと彼のスイングハウスカルテットのレコード(ベルトーン・ジョー11001)発売を記念しての

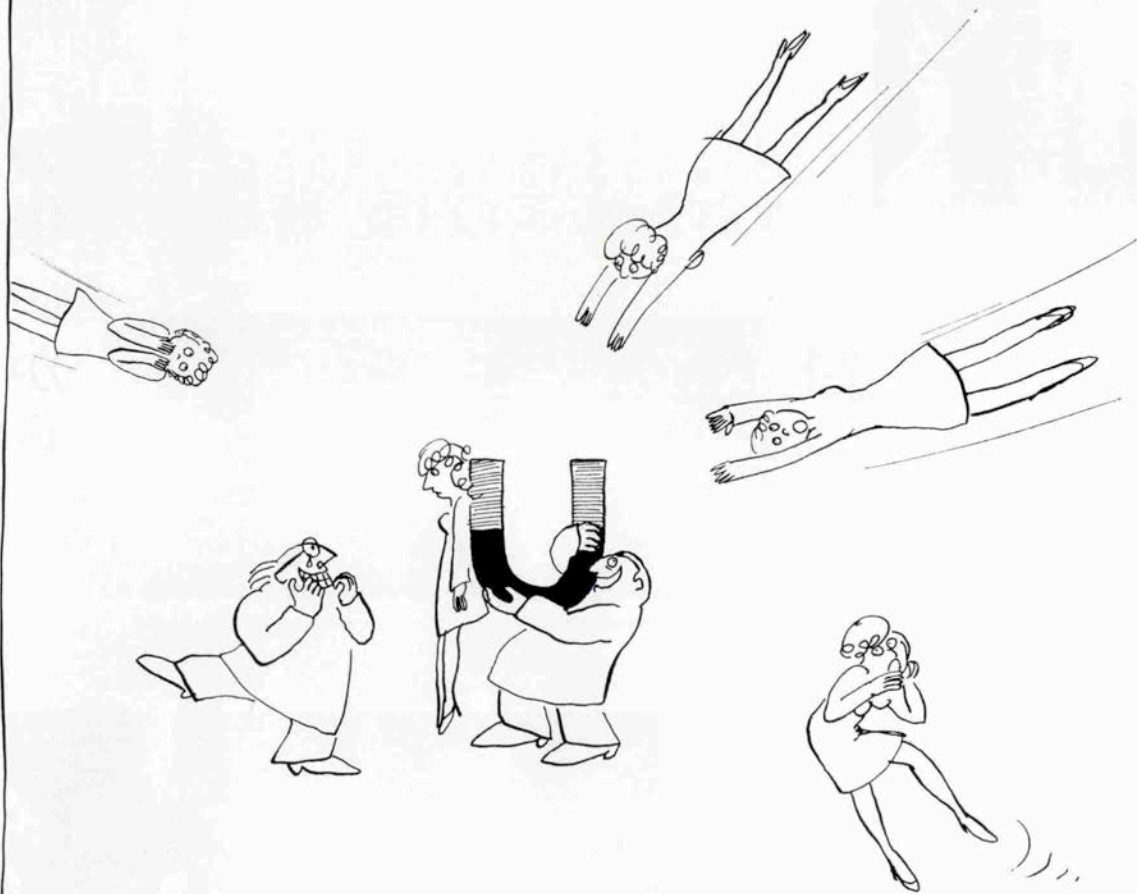


パンジヨーハウスに集った西やんファンたち

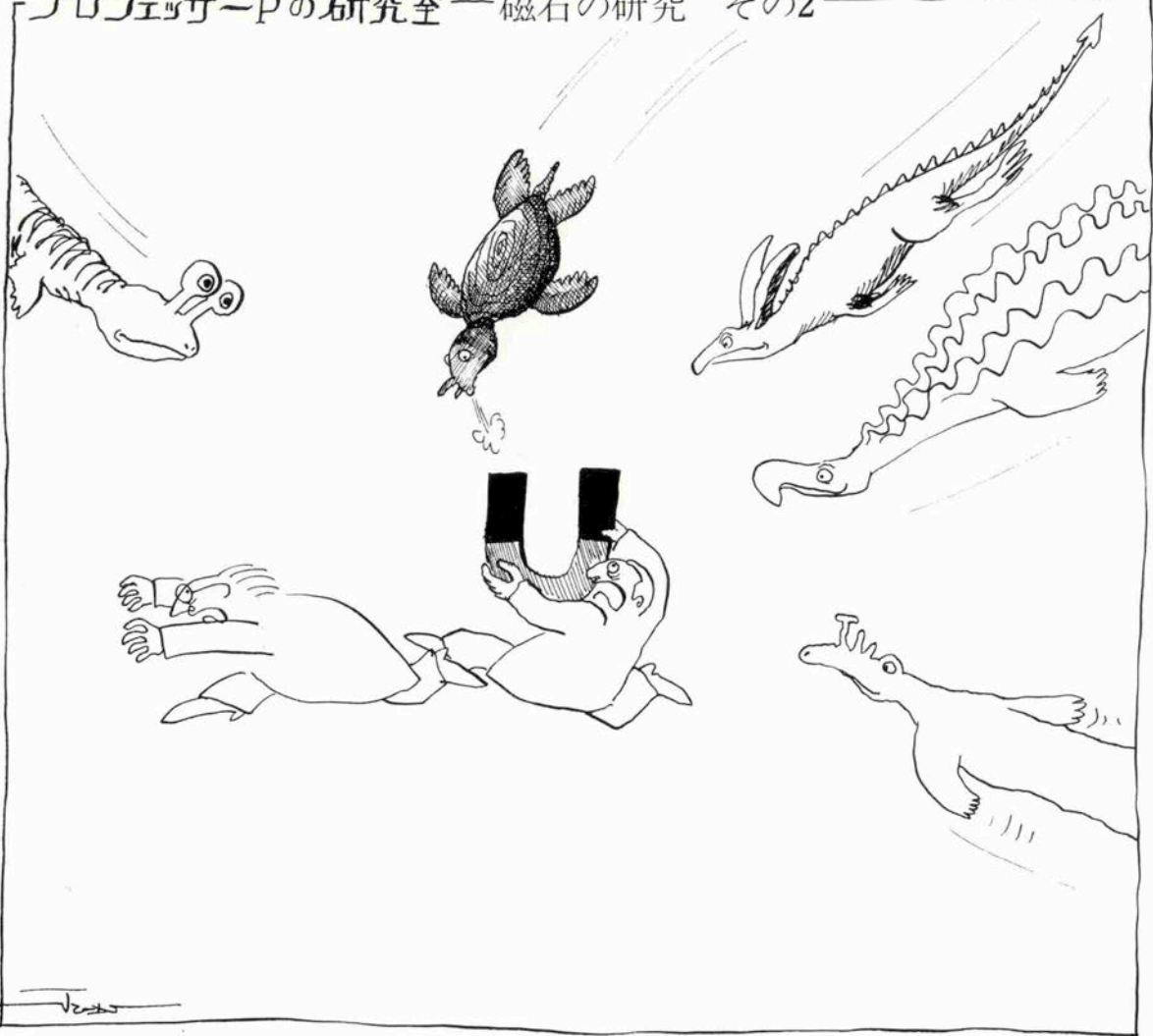
ジャズパーティー(企画・録音音楽企画)が開かれた。

彼らの演奏に、お祝いにかけつけた原田紀子さんの唄、ニューオリンズラスカルズの福田恒民氏のトロンボーン、レコードジャケットのデザインを受け持った大森重志氏のパンジヨーなどが加わり、大ジャムセッションがくり広げられた。そして集った約50名の西代ファンで乗りに乗ったパーティーは例によって聖者の行進の演奏で、名残りを惜しみながらのお開きとなった。

プロフェッサーの研究室 ⑮ 磁石の研究 その1 — 岡田 淳



プロフェッサーPの研究室—磁石の研究 その2—



うわの空

泣くマリーン

竹田 洋太郎 （在ニューヨーク） え・たかはし もう

仕事を終えてビルから出たとたん、猛烈な熱気と湿度がまるでサウナにはいったようからだを包んだ。ことしのニューヨークは、一九三三年以来の猛暑だそうだ。だが、このまま、これ以上に暑苦しい地下鉄の駅に降りていく気はしない。せめて一杯の冷たいビール。

いつもいく日本料理店の入口に近いバーで、とりあえずビールを注文して横を見ると、中年の米人が、つき出しもなしに、白雪と書いた徳利とさかずきを前において、ちびりちびりやっている。大分でき上っている様子。

「外はひどく暑いのに、ホット・サケとはよほど日本酒が好きなんだね」

「沖縄や韓国にいた時、味を覚えたんだ。これを飲んだらと、友達を思い出す」

「軍人でいったの」

「そうだ。マリーンだ。兵隊にはいつて二十年。ロングアイランドの部隊にいたんだが、休暇でニューヨークへ来たんだ。ニューヨークは相変らずキタナイし、不愉快な町だが、日本酒が飲める」

「訳せばこうなるが、兵隊言葉というのは、一つのセンチメンスをしゃべるのに、スウェアリング・ワーズ、つまり日本語に活字で表現できない。あいの手、みたいな言葉が一つ以上つくことになっている。」

「マリーンならベトナムへ行ったのか」

「もちろん」——ベトナムの上に「ガッデム」がつくがこれはベトナムをきらつてではなく、「あのひどい」といった感じにきこえる。

「共産党がやってきても、サイゴンの町は相変わらずと新聞にかいてあったが、静かな落ちついた都のフエ……ほくがいったときはそうだったが、どうなってるんだろ。王宮はテト攻勢で砲撃されたところにブリキがうちつけてあったなあ」

ほくがこういったとき、彼は歯をくいしばっていたようだったが、急に涙声になって

「あいつめ、どうして死んじまいやがったんだ。ニヤのバカヤロウ。なんで殺されたんだ」

泣き上戸であるのかも知れない。だが、ほくがフエという地名を出したのが悪かったんだ。たしかにそうだと考えた。

「戦争の話を出して済まなかった。もう泣くなよ」となだめたが、もつとひどい泣き声で「ニヤのやつ」を繰り返している。しようがない。「ニヤ」の話を聞かせてもらおう。

「実は、そのテト攻撃の時だったんだ。おれはベトナムのマリーンといっしょに戦ってたんだが、部隊は完全にVC（ベトコンの略、解放軍のことをいう）に包囲されていた。フエの近くだ。ニヤはマリーンのサージャントだった。彼がいうには十七歳の時兵隊になり二十二でサ



筆者

ージャントになった。すばらしくよくできた男で、部下もなついていたし、オレとは年がちがっても全く対等でいくさのやり方を議論したり、ともかくいい男だった。……包囲されていたとき、彼は部下をつれて偵察に出ていった。全く危険な仕事だったが、彼は喜んでいった。だが、予定の時間を過ぎてもなかなか帰ってこない。てっきりヤラレタと思っていたら、むこうの方から部下とっしょにニコニコ笑いながらニヤがやってくる。

オレもうれしくなって、ハイイといつて手を振ったらニヤも手を振って、こっちへ走り出してきた。その瞬間、ガクツとなって死んでしまった。もう一步でさん塚というのに。あの時の彼のスマイルを思い出すと、こうして涙が出てくるんだ。戦争ではいいやつがみな死にやがる。」

なんで殺されたんだ……。



そうだ。戦争ではいいやつがみな死にやがる。これと同じことを、ほくも何度いったことだろう。この言葉でほくは戦死した友人のことを思い出した。その何人かは沖縄と大陸で、とだけで、どこでどんなにして死んだかわからない。あれからちょうど三十年なんだ。

「ベトナム軍（南ベトナム政府軍）にもベトナムにいた韓国軍にも、なんんか友達がいた。とてもいいやつでマトモな兵隊だった。カラテのうまい韓国兵もいた。だが、みな死んじまいやがった。戦争は負け。彼らはなんのために死んだんだ。アメリカの兵隊もなんのために死んだんだ。オレは長い間殺し合いをしてきた。なんのためだ。ベトナム人は結局VCが好きなのか。多分そうなんだだろうな。」

「ベトナム人は何万もアメリカへ亡命してるが、オレの友達の兵隊は亡命なんかできなかったろう。どうしてるんだろうと思うが、いまアメリカにそんなことを考えるやつなんていやしない」

アメリカのマスコミも一般人も、みなベトナムのことは早く忘れたがっている。しかし、ともかく命をかけて戦ってきた男たちが何十万もいる。この男たちは、ときたまひっそりと、酒場の片隅で死んだ戦友のことを思い出して、涙を流すしかないのだろう。おかしな話だな、と思う。ほくはいまだ旧敵国にいて、その国の兵隊をなくさめている。負けた軍の兵隊なら、こちらが先輩ということになる。

「オレをハリーと呼んでくれ。ところであんたは日本でナニにいた」

「オレはネービーだ」

「ブルシット（これもひどい言葉）ネービーだと。USマリン（海兵隊）は世界一強い軍隊ということになっている。なにしろ日本軍に勝ったんだからな」

海軍の指揮下にある海兵隊は海軍が嫌い。マリンが強い証拠も常套文句。ここで始めてハリーは泣き顔で笑ってみせたが、そこには中年の淋しさが現われていた。

女体百景

《38》

H・ジュニア

え・浅野俊一

知恵遅れのামী

「僕、神戸名物・お菓子の××屋のドラ息子のK!」

「私、神戸っ子」の特派員、ヨーロッパ女体探訪中の

H、ジュニア!

二人が知り合ったのは、スイスは、ルンツェルンの街中で、時計で名高いローレックスの代理店、ビュッヘラーの近くの中華料理店だった。

「神戸っ子」懐しいなあ!送ってもらって、先生の女体百景、面白く読ませてもらってます」

「嬉しい事を、言ってくれるじゃねえか?」

「まあ、寿司食いねえ」

と、言いたい処だが、悲しいことに、湖畔の街に、寿司屋はない。

「パリには、いい日本料理店ありますよ」

「パリへ行こうか?」

「行きましょう!僕、車、持ってるんです」

「よし、決めた。明朝八時出発」

話は早い。

「旅は偶然を生む。偶然は、又、偶然を生んで、一層旅

を面白くしてくれる。▽

神戸の老舗のドラ息子を自称するK君のドライブする真黄色のフェラーリ・ディーノ・スパイダーは、H・ジュニア氏を乗せて爆音も低らかに、スイスの国境を越えてパリへと突走った。

途中立ち寄ったパリ郊外のガソリンスタンドで、「僕のামীを紹介する。彼女は若い。二百フラン欲しい。百フランは、前金で僕に。百フランはামীに!」

と、スタンドのアルバイト青年が、ひつこく言い寄って来た。

ামীというのは、成程、一見、ミレーユダルクの高校生版と言った、イカレタ風情の小娘だ。

「ウイ、ウイ」

H・ジュニア氏のひざの上に、ジンズルックの小柄な彼女を無理矢理すわらせ、後から、彼女の細いウエストを抱くと、彼の息子がムクムクと元気づいて来た。彼女の方は、オッパイもあり。お尻ポコポコ。

車は、もうパリ市内に入っている。懐しのエッフェル塔が車窓にチラホラして来た。しかし、

「今日は、私、あんまり、あれしたくないの」

と、彼女はダダをこね始めた。

モンマルトルのサクレクール寺院の尖塔が、夕日を受けて、銀色に光って見える。

「まあ、そんなこと言わずに! 御馳走するから! 何が食べたい?」

「日本料理!」

H・ジュニア氏は、この娘は相当日本人ずれしているのではないかと、いささか不安になって来た。こうなれば語学に強いK君が唯一の頼りだ。

三人は、どうせ食うならと、パリ一高いと評判の、ジャンゼリーゼ通りに近い「順子」へくり込んだ。



「今夜は、三人でゆっくり楽しもうね。何でも食べなさいよ。」

「マグロ。とろ。スミソ！」

と、彼女は叫んだ。いかに魚好きのH・ジュニア氏も、タコのスミソは聞いた事があるが、マグロのスミソあえは聞いたことがない！ 上には上がいるものだ。

「実にユニークだ」

と、H・ジュニア氏が叫んだ。普段からニヤニヤしているマスターが、特に、ニヤついて、スミソあえのマグロを持って来た。彼女はうまそうに食べる。

「マグロの本当の食べ方は、マヨネーズとジャムをぬって、皿の上へ置き、そのマグロをポイッと、別皿へ捨てて、残ったマヨネーズとジャムを舌でペロペロなめるのが一番やで」

と、K君が唾をついた。すると、早速、

「マヨネーズ、ジャム！」

と、彼女は叫んだ。

かくて、彼女がポイッと捨てるマグロを受け皿を受けて、H・ジュニア氏は、えも言われぬマグロの御馳走になったのである。

K君は、H・ジュニア氏に耳打ちした。

「彼女は白痴じゃないが、知恵遅れというやつだ。いいチャンスだから、ひとつ今夜は二人で彼女の一つの穴へ入れてみよう」

と、いうのだ。K君はドラ息子だけあって悪漢だ！ 彼女は行きつけのホテルへ案内した。

物には順序がある。まず、バスルームへ入り、

「年長者の先生、どうぞお先に」

と、K君が、彼女の上半身を前から洗っている間に、H・ジュニア氏にバックを一本先発させてくれたのである。

彼女は、体は発育しているが、まだセックス経験が浅いのか、「ああ！」と、その時、小声を発するだけだった。

「先生は、ベッドで休んでいて下さい」

と、K君が、今度は彼女のバックを攻めて射精しているらしい。先発したH・ジュニア氏とシンボルの堅さをうまく合わせた頃を見計って、トリプルプレーに挑戦しようというのだ。

愈々、K君は彼女を連れて、ベッドに近づいて来た。

まず、K君は彼女のバックを攻めた。そして、その状態のまま、つがいのトンボが止まるように、上向きに寝ているH・ジュニア氏の上に、彼女は馬乗りとなった。

からまる足をうまく整理するのに骨が折れるとはこの事か。

真中の軟骨まで、折れそうであった。入れるというより、手で押し込むと言った方が良さそうであった。

「これ約束の百フラン」

「こんな沢山もらってわるいわ。十フランも！」

〈正しく、彼女は可愛い知恵遅れの女だった。〉



淀長立見席 44

あなた40カラットかしら

淀川 長治(映画評論家)

結婚映画もいろいろあるが気の強い映画がとび出した。アメリカの今年の作品。日本題名『エーゲ海の旅情』なにやらうじゃらくじゃらと思わせぶりな浮気題名。ところがアメリカではその原名ばっさりと(四〇カラット) 40 carats.

三九才のアメリカ女。彼女は三人の生活を拘えている。母と十七才の娘と別れた亭主。この亭主いまだに女房に金をせびりにやってくる。俳優の落ちぶれたなれの果て。これをジーン・ケリー(おおっ!)が演じているので楽しい。その三十九才。ニューヨークで不動産業を自分の手でやっている。しっかり者だ。その名アン・スタンリー(リップ・ウルマン)。

彼女ギリシヤで男の子と知り合った。彼女はてんでそんなの相手にしない。

だってその子ピーター・レイサム(エドワード・アルバート)これは名優エディ・アルバートの息子。私は一九五六年にエディとその奥さんのマーゴに逢った。そのときこの夫妻のまんなかにチョココンと腰かけていた五才の男の子。パパがその我が子を見つめ、ハイ オチサンに御挨拶なさい、そしてその五才が私に向ってハウ・ドゥー・ユー・ドゥー。これが今や成長今年二十四才のこの新人男優。おおっ!……そのピーター・レイサムは二十二才。

このピーターがオバサマ・アン・スタンリーに夢中に

なった。二人はどうにもならんくらい仲良しを通りこして妙な仲になっちまう。アン『わたし・もうすぐ四〇なのよ』。するとピーターが申しました『君は四十という数にばかりこだわっている。ダイヤモンドのことを考えてごらんよ。一年は一カラット。君は、からだ中が輝く四〇カラットのブルーホワイト・ダイヤモンドなんだよ!』

うまいコトぬかしました。これなら八〇ババアは目もくらむ八〇カラット。女性よノ勇氣を抱け!

さて今度はこれを知ったピーターの父親。『二人の結婚は祝福する。しかし、あなたが年をとって息子が若い娘を好きになつたらどうするね。わしと同じ世代のあんたには、このことがわかるだろう』痛いところをピンヤリ。もちろん彼女はきっぱりあきらめる決心。ところがこの恋というものは結婚にまで持ち込まぬことにはどうにも安心できぬ。そしてアン、この三十九才、いまにいたって『恋』をした。アンの母親(おおっこれを、なんと懐しやビニー・バーンズが演じます。と申してもお若い人には……ダメね)これが困って『あたいと同じことはヤっちゃ駄目よ』だって。

さらにこれを知った別れた亭主『三十九才と二十二才、こりゃ異常かもしれない。けれど愛し合って結婚するなら、何が異常なもんか』この亭主、わかりがいい。

というわけでこの映画……さて……どうなるか。ハイ



ハイ：はつきりと
39才の女と
22才の男は
結婚するのであります。



……はつきりと三十九才の女と二十二才の男は結婚するのであります。

× 外国には結婚についてはいろいろと御忠告があります。(良き夫には悪妻なし)(夫婦というものは互いの相手の欠点を本当に理解して話し合ったときにこそ完全な夫婦となるであろう)

(夫婦というものは深い愛情とほんの僅かな規律と、そして、文句の云わぬ亭主……これですべてハビイ)

(妻というものは……愛を証明するために夫をベッドに入れるだけではダメ。それよりも朝起きて今日の日をいかにすばらしい日とするかのために、夫と一諸にその朝を明るく愉快に迎えることじゃ。長い人生とは恋を囁くだけのホテルじゃない)

ところで、もっと恐しいのがあるから油断できない。(独身の男は結婚している男よりも女についてはよく知っている。もしも知っていなければ……とつくに結婚しているだろう)

× もっとこわいのがある。母と娘。「だってママだってパパと恋愛結婚したのでしょう」「だから心配なの。アんなのを掴んじまったからさ」

これは恋がハシカのごときひとときの熱情たるやもしれぬことをいましている母の言葉。

× それでミルトン・カセラス監督の「エーゲ海の旅情」いかに相成りますや。

最後にもっとこわいのを一ツ。(夫とは指環をつけた不幸な男。婚約者とは指環をつけた幸福な男) ああこわ。



★爽やかサンエードを

6月28日にオープンしたカフエ・ブロッコはなんどいやの会(三本松茂会長)結成以来のメンバー小川タクマさんが始めた店で、白木造りのテーブルと椅子は明るい雰囲気をかもし出し、全体に可愛い女性に好まれそうな店だ。



お店の地下美也子さんと森田淳子さん

コーヒードでは一品もの他にアイリッシュコーヒードグラーッセ、カフエアレキサダーなど楽しいメニューが色々ある。だが、今の季節にはサンエード(三百円)がピッタリ。これはブラムワインをベースとした飲みもので、その口ざわり

の良さは飲んでみないと分らない。冬場にはホットのポネグラネードエードがよい。デザートにはゼリーでゴールドモカジャバ(四百円)がおすすりめできる。

17歳から60歳、そして、会社員、自由業と年齢職業の巾は広い。静かな音楽がいつも流れている。ブロッコは元町の新しいたまり場。なお、コーヒード豆の挽き売りもやっている。朝・8時30分から夜・10時まで 阪神元町駅西口南へ10米東側の地下の店です。電話三九一―一七二〇

★「テイラ」愈々オープン

かの有名な名探偵ベリィメイソンの秘書、デラ・ストリート。そこから店の名をとった喫茶店「テイラ」が9月3日オープンした。これまで有名なアフリカスベシヤリスト福岡康年さんの店だといえ、何となく奇怪な店を連想し勝ちだがさ

にあらず、静かで落ち着いた可愛らしいステキな店はどこちらかといえ女性向き。月に二回、日時を決めて福岡さんがクロスアッパマ

ジックを演る。これは非常に珍らしいので見る価値あり。また、たかはし・もうさんの「笑点」(神戸新聞連載)の原画(その日の朝刊に載った分)を毎日掛け変えるし、壁面はアフリカの民芸品で飾っている。



福岡康年さん

「美味しいのはコーヒードまじいのはコーヒード、紅茶」ということだが、本当か嘘か? まず行って下さい。朝・8時30分から夜・8時30分まで 当分休まず頑張っています。元町一番街浜側、キヨシマヤ横の小路を入ったところの店です。電話三三二―一二七

★ウエザーコック六周年

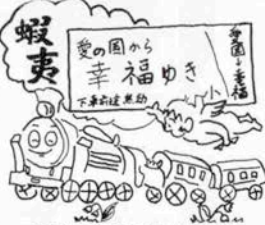
8月12日、ウエザーコックが満六周年を迎えた。ママの山本政子さんは、「六周年を迎えられたのもみなさまのおかげです。これからお仕事の疲れをいやす気楽な雰囲気のお店として頑張ります」と七周年に向けて意欲を燃やす。

風見鳥、ウエザーコックはナイトコウベのシャレたシブル夜ののだ。夕6時~夜0時月曜休み 生田区下山手通二丁目二九の一 神戸ビル 電話三九一―一五九五九

●神戸うまいもんとして ドリンキング

北海道郷土料理 蝦夷 生田区中山手通二丁目10号 東門前東門会館ビル1F 電話三三二―一七七七〇

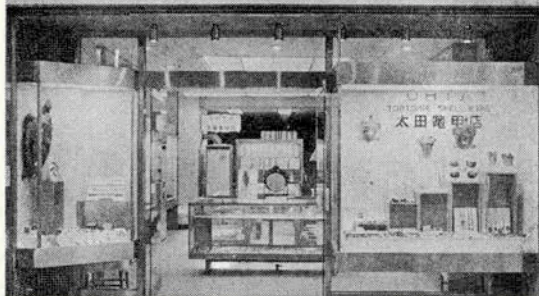
「幸福」駅で小さなブームをまきおこしたその駅の始発駅「帯広」からの直送の珍味の数々、大平原の真中にある十勝川からの鮭の鍋物等を皆様にお送りして早くも三周年を迎えることになりました。



4年目へ向けて蝦夷号出発!

した。●蝦夷をここまで育てて下さったのもこれひとえに皆様のお力添えのためものと深く感謝致しております。この度三周年記念と致しますが粗品を用意致しておりますので御家族づれお友達とお誘合せの上、御来店下さいませよう心よりお待ちしております。 期間九月二十二日~三十日(日曜祭日休)

太田鼈甲店

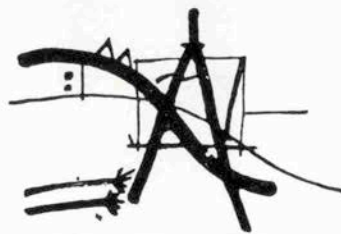


べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331 1309・6243

KOBE SHOPPING GUIDE

おすし
てんぷら



栄
彌



本店 大丸前・三宮神社東

TEL(331)57772

(毎週水曜日休み)

支店

さんちか味ののれん街

TEL(391)5233

(第3水曜日休み)

営業時間
A.M.11.30~P.M.9.00

高級紳士服専門店

神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL(391)0388

生田区北長狭通2(阪急西口) TEL(331)2817・3173

HAPPY
HAPPY
HAPPY

※ウエディングケーキ
ご婚礼・お引菓子予約承ります



WEDDING
WEDDING
WEDDING

北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市曾合区熊内町1の8(市立美術館東隣) TEL.221-1164
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸アパート・元町店



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三惠洋服店

元町4丁目 TEL.(341)7290

KOBE SHOPPING GUIDE



三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリータウン ☎三九一—四〇四五
三宮店 センタービル1階 ☎三三三—四九六九
元町方面でのお買物は……
パンフウ店 元町通三丁目山側 ☎三三一—〇〇九〇
三宮駅前方面でのお買物は……
サンこうべ店 神戸駅前地下街 ☎三五一—一六〇〇二

おもちゃの
カメラ



およろこびの目の
心からの贈り物に
カメラの人形を!

三宮

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

三宮
ムサシ
でんわ・
321 321 331—三七七一
—〇六三四
—〇六三五